

山岸安博さん 県協議会から 交通教育専門員永年勤続表彰



長期にわたり交通教育専門員を務めていただいています。本当にありがとうございます。

山岸安博さん(白石)が、福島県交通教育専門員連絡協議会から永年勤続表彰を受けました。

交通教育専門員は、交通安全の知識や交通安全思想の普及を図り、街頭指導や交通安全教育活動を行う専門員で、各市町村が任命します。

山岸さんは15年にわたり、村の交通教育専門員を務め、地域の交通安全に対する取り組みを続けています。山岸さんは、5月20日に来庁し、中川副村長に表彰を報告。中川副村長は、山岸さんに、祝意と感謝を伝えました。

春日部市の「藤まつり」に出展 支援と交流に感謝を込めて

4月27日、埼玉県春日部市の「第44回春日部藤まつり」に出展し、特産品の販売を通して、春日部市の皆さんと交流しました。同まつりは春日部市民に愛される恒例行事で、模擬店の出店やパレードなどが行われています。村は震災後、同市から長期にわたる支援をいただき、当時村民が招待を受けていたこのイベントに、毎年の出展を続けています。

「菓子工房Cocitto」「まてい工房美彩恋人」の皆さんと一緒に、杉岡村長や役場職員もブースに立ち、市民の皆さんと交流して感謝を伝えました。



1 km以上の藤棚が続く「ふじ通り」が会場です。村のブースにも、多くの方が立ち寄りしました。

「昆虫の聖地」連絡協議会 令和7年度の総会を開催



県内からは12市町村と企業・団体が加盟し、「福島の豊かな自然を世界に発信しよう」と取り組んでいます。

「昆虫の聖地協議会」の総会が、5月21日、大阪府豊中市で開催され、杉岡村長が出席しました。

同協議会は一昨年に発足。福島県内を中心に3県の自治体と企業・団体が連携し、昆虫をきっかけに豊かな里山環境を守り、観光や誘客につなげていくと活動しています。総会では、加盟自治体の昆虫マップの作成が事業計画として承認され、続いて



専門家による特別講演も行われました。今年3月には協議会のホームページ(左のQRコード)が開設されています。

相馬看護専門学校の学生が 村内で実習を行いました

5月8日・12日・14日に、『相馬看護専門学校』の学生が村内で実習を行いました。同校は、飯舘村と相馬市・南相馬市・新地町の2市1町1村で構成する「相馬地方広域市町村圏組合」が設立した公立の学校で、平成13年に開校しました。村内での実習は、「地域で暮らす人々の健康な生活を支える社会資源を知る」ことを目的に、令和5年度から実施されています。村を訪れた学生の皆さんは、村の特性や健康福祉課の業務について担当職員の説明を受け、訪問活動にも同行しました。



5月8日に来村した皆さん。連携の大切さや一人ひとりに合わせた関わり方を実習で学んだと話していました。

相馬野馬追の式典で 山中郷が相馬流山踊りを披露



式典が行われた雲雀ヶ原祭事場にて、藩の紋所「九躍の星」を付けた陣笠・陣羽織で踊りを披露しました。

国の重要無形民俗文化財「相馬野馬追」の式典にて、5月25日、村民の踊り手が『相馬流山踊り』を披露しました。

『相馬流山踊り』は相馬中村藩の国歌・軍歌とも言われ、4部構成の踊り全てに、馬に関する動作が振り付けられています。また、本祭りでの披露は、旧相馬中村藩に属していた各地域(郷)が持ち回りで行っていて、今年は飯舘村(旧山中郷)の出番。公募で集まった20人の踊り手が、2月から交流センター「ふれ愛館」で練習を重ね、本番に臨みました。

もち米「あぶくまもち」 種子ほ場で今年初の田植え

もち米「あぶくまもち」の種子ほ場の田植えが、青田豊実さん(前田)のほ場と森永正男さん(前田・八和木)のほ場で行われました。

「あぶくまもち」は、県が高冷地向けに開発した品種で、村が栽培を復活させブランド化を目指していることから、毎年最初の田植えには、双方の職員が参加しています。今年は5月15日に青田さんのほ場で最初の田植えが行われ、関係者が「あぶくまもち」のさらなる発展を祈念し田植えを行いました。森永さんのほ場では、5月20日から田植えが始まりました。



5月15日、青田さんのほ場での田植え。



5月20日、森永さんのほ場での田植え。